長与中央地区コミュニティ
まちづくり計画書

長崎県長与町

長与中央地区コミュニティ運営協議会

はじめに

昨夏から始まった５回におよぶ長与中央地区コミュニティ「まちづくり計画住民会議」（ワークショップ）に、毎回、役員の皆様方に多数ご出席いただきました。

青少年部、健康福祉部、環境整備部、地域づくり部の４つの部会において、昨年度実施されたアンケートの結果から、参加者が普段感じておられることなどをもとに、地域内の「課題・問題点」を討議し、活発な話し合いがなされ、今回計画書を策定するに至りました。誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

その結果、コミュニティがめざす将来像を、長与中央地区の特性や現状・課題を踏まえ、また取り組みの目標として、『「緑と水をまもり、人にやさしく、住んでよかった中央地区」～子どもも大人も多様な交流で取り組む安心安全な地域づくり～』と設定いたしました。今後はこれに基づいて、自治会・地区コミュニティ組織活動を積極的に行い、各種行事等に多くの人が気軽に参加しやすいように人材確保に努めてまいります。

地域の住民の皆さま、また役員の皆さまには、なお一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成 26 年３月
長与中央地区コミュニティ運営協議会
会長　　吉丸　尚眞

コミュニティまちづくり計画について

現代社会においては、地域を取り巻く環境や住民のニーズ・価値観が多様化かつ複雑になる一方で、人と人とのふれあいや近所づきあいなどは年々希薄になりつつあります。さらに、多発する災害や環境問題、少子高齢化、子どもたちの健全な育成などといったさまざまな地域の課題に対応していくために、地域住民みんなによる、地域のための「まちづくり」を進めていくことが必要です。

そこで、地域の「まちづくり」活動を維持継続して進めていくためにも、住民みずからが「まちづくり計画」を策定し、それをもとに協力しあって解決に向けた活動に取り組んでいくことが大切で、その中核組織として地区コミュニティの重要性がますます高くなってきています。

今回、地域における長所・短所の洗い出しからその解決に向けての取り組み、その実施時期、役割分担などをまとめ、これからの地域全体の羅針盤として、「コミュニティまちづくり計画」を策定しています。

≪目　次≫

はじめに

1　長与中央地区の現状と課題 1

2　長与中央地区がめざす将来像 8

3　分野別の基本方針 9

4　主な取り組みと実施時期・役割分担 11

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画 20

6　計画の推進に向けて 22

7　資料 23

1　長与中央地区の現状と課題

長与中央地区の概況

■地理・地域

　長与町の中心部に位置し、丸田郷の全域、そして嬉里郷の一部、吉無田郷の一部で構成されています。町役場をはじめ主要な公共施設が多数あり、まさに町の中心地である一方、丸田郷地区には多くの自然が残されています。

■主な地域資源

交通	主なスポーツ施設
バス　長崎バス 道路　県道 45 号	長与町武道館
産業・特産品	**公園・名所・旧跡・寺社仏閣・観光地**
みかん	中尾城公園 長与寺屋敷跡五輪塔群 タンタン岩 丸田温泉 皿山 長与皿山古窯跡 宝塔様 忠霊塔 長与川親水公園
教育施設	
長与中学校 長与小学校 長与保育園 学童保育　まるたんぼクラブ 　　まきのきクラブ	
主な公共施設	**まつり・イベント**
長与町公民館 勤労青少年ホーム 老人福祉センター 図書館 町民文化ホール 長与児童館 役場	中尾城公園まつり 商工まつり

■地域内の主な取り組み

・グラウンド・ゴルフ大会
・囲碁・将棋大会
・鬼火だき
・勤青ながよまつり
・ながよ中央公民館まつり
・地域安全防犯パトロール体験交流会
・「平和のともしび」灯ろうづくり
・歩こう会
・風船バレーボール大会

■コミュニティ

名称	設立年月日	事務局
長与中央地区コミュニティ運営協議会	平成 14 年 12 月 7 日	長与町公民館

長与中央地区の現況と課題

■進む少子高齢化、自治会加入率の増加が望まれる

平成 25 年 3 月末の長与中央地区の人口は、7,425 人、世帯数は 2,939 世帯で、長与町全体に占める割合はそれぞれ 17.5%、17.9%となっています。1 世帯当たりの平均世帯人員は約 2.5 人で、高齢化率は 21.9%、14 才未満の人口率は 16.5%です。

自治会数は 7 つで、最も人口が多い嬉里中央自治会から最も少ない丸田谷自治会まで、おのおの生活環境の異なる地域で構成されていますが、町全体と同じく少子高齢化が進んでおり、これからは、地域で高齢者の一人暮らし世帯や夫婦のみ世帯の問題をどう支援していくのか、また、地域全体で子どもを見守り、育てていくには何をすべきかなどの課題があります。

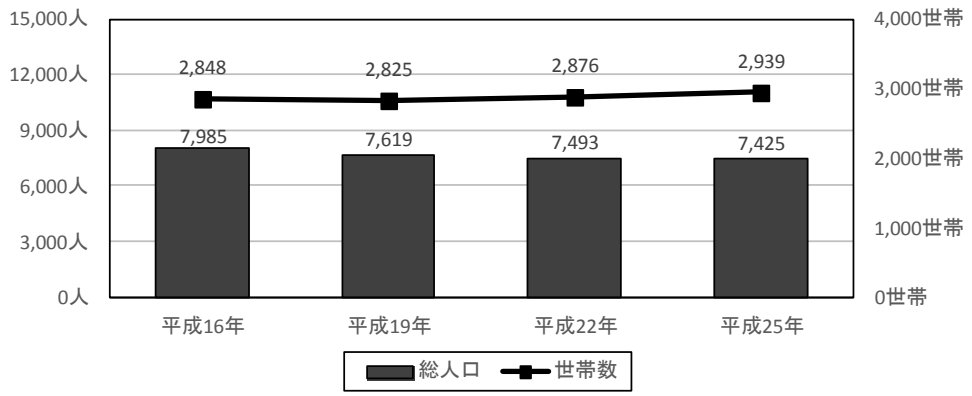
自治会未加入者が多くなっていることも問題点に挙げられています。地区の平均加入率は 75.5%で、町全体（74.2%）よりわずかに高くなっており、現在、地域における自治会、コミュニティ活動は活発であるものの、懸念材料である行事等への参加者や役員の固定化、高齢化等に対し、その解決策の 1 つとして今後加入者を増やしていくことが望まれます。

自治会別人口・世帯の状況

自治会名	男	女	計	世帯	高齢化率	15歳未満人口率	自治会加入世帯数	自治会加入率
長与町全体	**20,242**	**22,155**	**42,397**	**16,397**	**20.3%**	**15.7%**	**12,173**	**74.2%**
内園	337	400	737	290	22.1%	13.0%	207	71.4%
南田川内	536	600	1,136	461	33.0%	11.4%	335	72.7%
丸田谷	314	361	675	265	26.7%	9.3%	206	77.7%
丸田AP	584	549	1,133	364	0.1%	35.7%	360	98.9%
皆前	520	621	1,141	487	20.7%	15.1%	330	67.8%
嬉里中央	890	1,035	1,925	803	26.5%	14.1%	570	71.0%
定林	311	367	678	269	23.9%	12.5%	212	78.8%
中央地区合計	**3,492**	**3,933**	**7,425**	**2,939**	**21.9%**	**16.5%**	**2,220**	**75.5%**
			17.5%	**17.9%**				

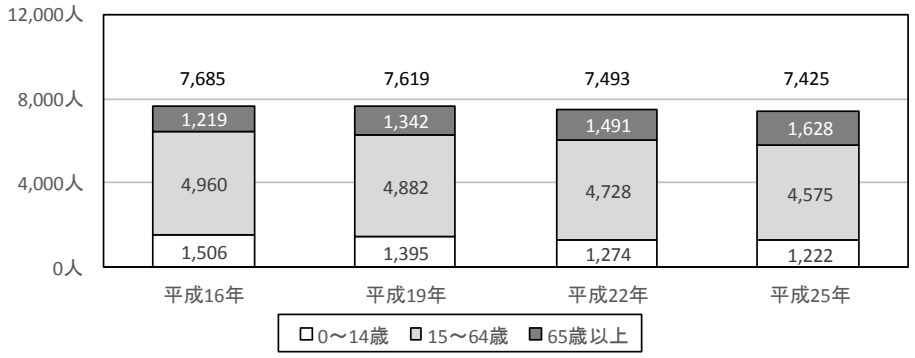
住民基本台帳：平成25年3月31日

人口・世帯数の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

３区分別人口構成比の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

■人情味のある土地柄、しかし人のつながりが希薄化してきている

アンケート調査によると、中央地区が暮らしやすいと回答した人が９割を超えています。これは生活の利便性もさることながら、人情味がある、人の心が穏やかといった地域の人柄によるところもうかがえ、あらゆる世代が気軽にあいさつを交わし話ができる温かい雰囲気があります。地域活動についても協力的で、特に子どもの見守り活動は地区一丸となって取り組んでいます。一方で、住民同士のつながりが薄い、新旧住民に温度差があるといった課題も指摘され、さらなるコミュニティ発展のためには地域住民がもっと知り合い、助け合い支え合う意識を持つことが大切です。

■安心安全の確保が望まれる

平成 23 年３月の東日本大震災をはじめ、異常気象による災害等が近年各地で頻発しており、アンケート調査でも、災害への備えや防災活動といった項目に関心が高くなっています。このように、避難経路の確保や避難所の備蓄などハード面の整備も重要ですが、災害時における、家族のみならず地域に暮らす人々の助け合いや支え合いという「絆」の大切さが再認識されている中、今後、地域活動を推進していく上で、日頃からのつながりや高齢者等への支援体制の充実も求められています。

また、歩道等の整備不足や街灯が少ない場所があること、交通マナーの悪さ、不審者情報などが指摘され、地域の安全性の確保が求められています。

■生活環境の向上が望まれる

町役場をはじめ各公共施設が地区内にあることから、交通の便は比較的良いものの、交通渋滞やマナーの低下などによる環境悪化が指摘されています。さらに、商店街の活性化を望む意見もあり、商店街の良さが失われ活気のない町になっていくことに不安を感じる人も多いようです。

また、ゴミ分別の徹底化やマナー向上を図り、今後地域における高齢者の資源ゴミ回収サポート等さまざまな活動に取り組むなど、みんなで地区全体を快適な環境にしていくことが望まれています。

ワークショップで出た主な意見

地域づくり部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・自治会での活動が活発である。 ・町民スポーツを通じてつながりが出てくる。 ・毎年、お正月には、鬼火だきをして交流を深めている。 ・団地内で月 1 食事会を行っている。老人世帯が多いのでコミュニケーションがとれていい。	・自治会に加入する人が少ない。 ・旧住民と新しい住民の温度差がある。 ・近所付き合いが無い。 ・自治会、子ども会の役員のなり手がいない。 ・行事、催し等への参加者が固定している。 ・高齢者夫婦が多くなっている。 ・青年層の活動の場がない。

健康福祉部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・高齢者の見守り活動をしている。 ・自治会内で高齢者世帯の見守りをしている。色々な情報が分かる。もっと広げて行きたい。 ・老々介護中。自治会内に状態を話しているので、徘徊しても、すぐ連絡がはいったり、連れて来てもらったりしている。	・高齢者、障がい者に、道路、歩道が配慮されてない。 ・老人福祉施設が少ない。 ・高齢者（認知症）への対応が不十分である。

環境整備部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
•公共施設や商店が近く、生活するのによい。 • 便利である。（町の中央） • 長与川が整備され、川遊びができる。 • 静かで落ち着きがある。 •近くに中尾城公園があり、緑が豊かで散歩するのに快適。 • 防災訓練等により、防火意識が高い。 •近所同士の付き合いが深いので、災害時に有効である。 • 資源物回収が良くなった。 •年一回、長与町全域で一斉清掃があるのがよい。	• 商店街があるが、買物全体は不便。（ほとんど時津方面へ） • 中央商店のシャッター通り化。 • 長与川をもう少し手を入れて、きれいにしてほしい。 • 適正な避難箇所が少ない。 • 街灯が少ない場所がある。 • ゴミステーションの分別が、まだ完全でない。 • 自治会での資源物回収に出さず、業者に出す人が多い。 • 老人が、ゴミを出せない所あり。 • 道端にカン、ゴミのポイ捨て。 • ペットのマナーの問題。

青少年育成部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
•見守り隊により、通学路の安全が保たれている。 •子どもたちに対する、高齢の方々の見守り意識が高い。 •ボランティアの方が、毎朝見守って下さっている。 • 違う世代と挨拶できる。 • あいさつがよい。顔見知りが多い。	• 子どもの数の減少。 • 地区 PTA の保護者の参加が少ない。 • 子ども会の加入が少ない。 • 地域の行事に参加する子が少ない。 • 通学路が、整備されてない。

2　長与中央地区がめざす将来像

長与中央地区の将来像を以下に示します。この将来像は、めぐまれた自然と生活環境、そして地区のシンボル「長与川」を守り、次世代に譲り渡していきたい、また他人を思いやる心を育て、地域住民みんなが、住んでよかったと思えるような中央地区にしていこうという願いを込めています。副題として、子どもから高齢者まですべての世代が、集い、ふれあい、語り合って行動していくこと、さらに喫緊の課題にあげられている交通安全や防犯防災に強く取り組んでいくことが大切だと考えました。

将来像

緑と水をまもり、人にやさしく、住んでよかった中央地区

～子どもも大人も多様な交流で取り組む安心安全な地域づくり～

3　分野別の基本方針

将来像を達成するために、以下に示す４つの部会ごとに「目指す姿と基本方針」を掲げ実現に向かって行動します。

地域づくり部会	目指す姿
	地域住民のつながりを深めよう
基本方針	元気で活力のある長与中央地区をつくるには、まず自治会加入率を高めていくことが重要であると考え、さまざまな取り組みで加入率アップを図ります。さらに地域の人材を発掘し、リーダーの育成を目指します。また、今後のコミュニティ発展には、子育て世代の女性のパワーが不可欠であるとの視点から、あらゆる面での参加を促進し、地域力の底上げを図っていきます。

健康福祉部会	目指す姿
	笑顔でいきいき、元気で長生きする地域を目指して
基本方針	現在行われている「歩こう会」をさらに充実していきます。これは、地域住民の健康増進や健康管理を図るとともに、参加を通じて住民同士の交流の輪を広げていくことで地域福祉に対する意識を高め、誰もが元気で笑顔のまちづくりに努めていきます。

環境整備部会	目指す姿
	住みやすい環境をみんなで守ろう
基本方針	地域のみんなが快適で住みやすい環境を享受するためには、地域の生活環境を守るという意識を住民一人ひとりが高めていかなければなりません。豊かな自然環境に多く親しみ、ゴミの減量化や正しい分別を実践するなど、環境にやさしい生活を目指します。 また、家庭排水の浄化に取り組み、長与川の水質の改善をすすめていきます。

青少年育成部会	目指す姿
	あいさつが飛びかう安心なまち
基本方針	地域全体で子どもを見守る活動が多数行われており、日頃から防犯意識、交通安全意識が高い中央地区ですが、何をするにも笑顔であいさつはすべての基本であるとの考えから「あいさつの徹底」をすすめていきます。 また、防犯や交通マナーに対するさらなる意識強化を図るなど、さまざまな取り組みで、子どもをはじめ住民みんなの安全を確保します。

4　主な取り組みと実施時期・役割分担

４つの部会別の基本方針に沿って、今後取り組むべき取り組みとその時期、役割分担を以下のように整理します。

○施策時期について

短期	1～2 年で取り組む
中期	3～5 年で取り組む
長期	6～10 年で取り組む

○役割分担について

地域	地区内で取り組むこと
協働	地区と行政が共同で取り組むこと
行政	行政が取り組むこと

○体系のイメージ

	部会	目指す姿	取り組む分野
将来像　緑と水をまもり、人にやさしく、住んでよかった中央地区 ～子どもも大人も多様な交流で取り組む安心安全な地域づくり～	地域づくり部会	地域住民のつながりを深めよう	自治会問題
			交流・ふれあい
	健康福祉部会	笑顔でいきいき、元気で長生きする地域を目指して	歩こう会の充実
			高齢者支援活動
	環境整備部会	住みやすい環境をみんなで守ろう	ゴミ問題
			長与川をきれいに
	青少年育成部会	あいさつが飛びかう安心なまち	あいさつ運動
			安全

地域づくり部会

目指す姿　**地域住民のつながりを深めよう**

現在、地区で取り組んでいること

・囲碁将棋大会	・風船バレーボール大会
・グラウンド・ゴルフ大会	・歩こう会

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1ー2 年	中期 3ー5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
自治会問題						
■自治会加入率を上げる	━━				○	
■資源化物の回収に協力してもらい会費の値上げを極力抑える	━━			○		
交流・ふれあい						
□イベント行事への参加を増やそう						
■ソフトバレー、鬼火だき等で幅広く参加者を募り、顔見知りをつくる事からスタートする	━━			○		
■多くの人が参加できる行事を考える	━━			○		

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1－2 年	中期 3－5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
□子育て世代の女性の参加を増やそう						
■比較的参加しやすいソフトバレーを充実させる	━━			○		
■子どもや高齢者も一緒に参加しやすい環境づくり	━━			○		
■日頃のふれあいをもっと活発にし、あいさつ、誘いの回数を多くする	━━			○		

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

健康福祉部会

目指す姿　**笑顔でいきいき、元気で長生きする地域を目指して**

現在、地区で取り組んでいること

・会員の健康づくり（歩こう会の開催）
・本部開催事業への参加

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1－2 年	中期 3－5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
歩こう会の充実						
■子どもから高齢者まで参加しやすく、無理のないコースを選定する	━━				○	
■コースの下見等を行う	┅┅	━━		○		
■天気が悪い時（当日中止）の時には、健康に関する催しをする	┅┅	━━		○		
■参加したくなるようなポスター・チラシを配布する	┅┅	━━			○	
■開催内容を魅力的にする	┅┅	━━		○		
■参加者の声を聞き、今後の参考にする	┅┅	┅┅	━━	○		
■若い参加者を増やす	┅┅	┅┅	━━	○		

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1－2 年	中期 3－5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
高齢者支援活動						
■高齢者の実態把握	━━━				○	
■高齢者の見守り活動	━━━				○	
■高齢者交流会	┅┅┅	━━━		○		

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

環境整備部会

目指す姿　**住みやすい環境をみんなで守ろう**

現在、地区で取り組んでいること

・資源化物拠点回収（皆前地区はティッシュペーパーを配布）
・長与川清掃

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1－2 年	中期 3－5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
ゴミ問題						
■マイバッグの徹底	━━			○		
■班ごとの活動でコミュニケーション向上を図る	━━			○		
■回収後のステーション清掃を班ごとにすることで分別の意識を高める	━━			○		
■ゴミの減量化に取り組む	━━			○		
■正しいゴミの分別を徹底する	━━			○		
■ペットのマナー向上を図る	━━			○		
■町と地域が連携しながら自治会加入率の向上を図る	━━				○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1－2 年	中期 3－5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
長与川をきれいに						
■合成洗剤を減量して、長与川の水をきれいにする	┅┅	━━		○		
■環境に優しい洗剤、石けんの使用促進	━━				○	
■生き物が住める河川作り	┅┅	━━			○	
■長与川の岸にネコヤナギの木を植える	┅┅	━━			○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

青少年育成部会

目指す姿　**あいさつが飛びかう安心なまち**

現在、地区で取り組んでいること

・交通ボランティアによる見守り
・小・中学校におけるあいさつの励行

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1－2 年	中期 3－5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
あいさつ運動						
■自治会で取り組む	━━━			○		
■あいさつゾーンをつくる	┅┅┅	━━━			○	
■大人（年長者）から積極的にあいさつをするようにする	━━━			○		
■コミュニティ役員は率先してあいさつする	━━━			○		
■行事等集まった時には笑顔であいさつする	━━━			○		
■まず、家庭から「おはよう～おやすみまで」を徹底する	━━━			○		
■あいさつ実行ＰＲ　実施についてのビラ配布	━━━			○		
■あいさつ実行ＰＲ　行事での挨拶時に必ず「あいさつ運動」についてふれる	━━━			○		
■あいさつ実行ＰＲ　ノボリをつくる	┅┅┅	━━━			○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1－2 年	中期 3－5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
■あいさつ実行ＰＲ　コミュニティ団体毎に、周知を図る	━━			○		
■あいさつ運動期間　月１回　１週間	┅┅	━━		○		
■あいさつ運動のＰＲ手段として「広報ながよ」で宣伝する	━━				○	
■あいさつ運動のＰＲ手段として、学校から子どもへ知らせる	━━				○	
安全						
■地区内の全校生徒に対して、自転車の講習会を開催する	┅┅	━━			○	
■地区住民に自転車の交通ルールの周知を図る	━━			○		
■自転車への鍵かけを呼びかける	━━			○		
■自転車盗難防止のため、駅周辺の整備を進める	┅┅	┅┅	━━			○
■非行防止のために、たまり場の点検を警察と協力して行う	┅┅	━━			○	
■下校時に地域全体で玄関灯を点けるようにする	━━			○		
■万引き防止のための対策	━━				○	
■「子ども 110 番の家」の充実を図る	━━				○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画

前項の取り組むべき施策の中で、特に部会内で重要であると思う項目や優先順位が最も高いと思う取り組み案を１つ選び、具体的な取り組みを示します。

地域づくり部会重要プロジェクト**「自治会加入率を上げる」**
●活動内容 目標「自治会加入率を 75%から 80%に上げる」 ① 長与町役場が、転入者へ向けて自治会加入を促す ② ソフトバレーボール大会への若手女性の参加を促す ③ マンション、アパート経営者（不動産業者等）から入居者へ、加入を促す ④ 募金は自治会から負担する ⑤ 自治会内の転入者へは、自治会、役員、班長があいさつを兼ねて、加入のメリットを説明し加入を促進する ⑥ 地域づくり部会の４行事をこれまで以上により充実させていく

健康福祉部会重要プロジェクト**「高齢者支援活動」**
●活動内容 ・高齢者数・日常行動の把握 ・要支援者のリストアップ ・高齢者のマップづくり ・高齢者の見守り協力者を募る ・見守り実施計画の作成 ・高齢者の見守りを開始する ・高齢者交流会の開催

環境整備部会重要プロジェクト**「正しいゴミの分別を徹底する」**
●活動内容 ①拠点回収時に、町内から出た牛乳パックを再利用したトイレットペーパーを配布していく ②2～3 班単位で、分別に関する説明会・会合を設ける ③くるくるリサイクルセンターへの研修・視察を実施する 以上のことにより、まず環境に関心を持ち循環型のまちを目指す。

青少年育成部会重要プロジェクト**「あいさつゾーンをつくる」**
●活動内容 【区域】長与小学校周りの歩道（役場があることから他地域の方にも効果が見込める） 【周知】のぼり、ビラ、広報誌、コミュニティ会議での周知 長与町イメージキャラクター「ミックン」や「はっさく」の活用

6　計画の推進に向けて

以上のように、『緑と水をまもり、人にやさしく、住んでよかった中央地区』を実現し、長与中央地区コミュニティをさらに発展させていく上で、取り組むべきことは多くあります。しかし、現状では一部の人に負担が偏ったり、活動する人が限られたりと、これではどうしても継続的な地域づくりは難しくなってきます。従って、今後は以下のように取り組んでいきます。

■今回策定した「長与中央地区コミュニティまちづくり計画書」を、地域全体の計画とするために、全住民への周知に取り組み、理解を図ります。

■計画を推進していくためには、地域づくりのための仕組みづくりが必要です。コミュニティを中心に地域住民、自治会、行政、ＮＰＯなどが参加、参画、連携、協働することにより、計画の一層の充実を図っていきます。

■計画の推進にあたっては、何に取り組み、予算はどう配分するのかなどを、民主的に透明性をもって決定していきます。

■計画の推進にあたっては、人材の適材適所、地域内の人的資源、特に若い力や女性の力の掘り起しに努めます。

■計画は進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行っていくことが大切です。
見直しが必要になった際には、コミュニティ内で話し合う場を設け、行政を交えながら計画を推進していきます。

7　資料

■コミュニティまちづくり計画策定の経緯

開催日	内容
平成 24 年 12 月3日～12 月 25 日	コミュニティまちづくり計画アンケート調査の実施
平成 25 年　　7 月3日	第１回　住民ワークショップ ・地区の長所と課題の整理
8 月 21 日	第２回　住民ワークショップ ・地区の将来像と部会の目指す姿の検討
10 月１日	第３回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（1）
11 月５日	第４回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（2）
12 月 10 日	第５回　住民ワークショップ ・重点プロジェクト及び計画書のまとめ

長与中央地区コミュニティまちづくり計画書

平成 26 年 3 月発行

長崎県長与町

長与中央地区コミュニティ運営協議会